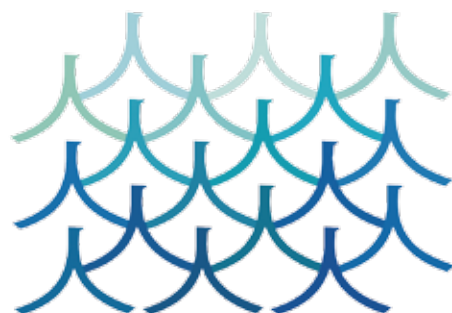


創 客 創 人

SOKYAKU-SOJIN



日 南 市

日南市重点戦略プラン

2015-2019

< も く じ >

1 日南市重点戦略プランについて

策定の背景と意義	1 ページ
コンセプト(理念)	3 ページ
構成と期間	6 ページ
概念図	7 ページ

2 長期ビジョンと具体的な4つのビジョン

長期ビジョン(将来像)	9 ページ
具体的な4つのビジョンと4つの戦略	11 ページ
戦略と重点施策	13 ページ

3 人口の推移・将来人口推計

人口の推移	21 ページ
将来人口の見通し	22 ページ

4 用語解説

用語解説	23 ページ
------	--------

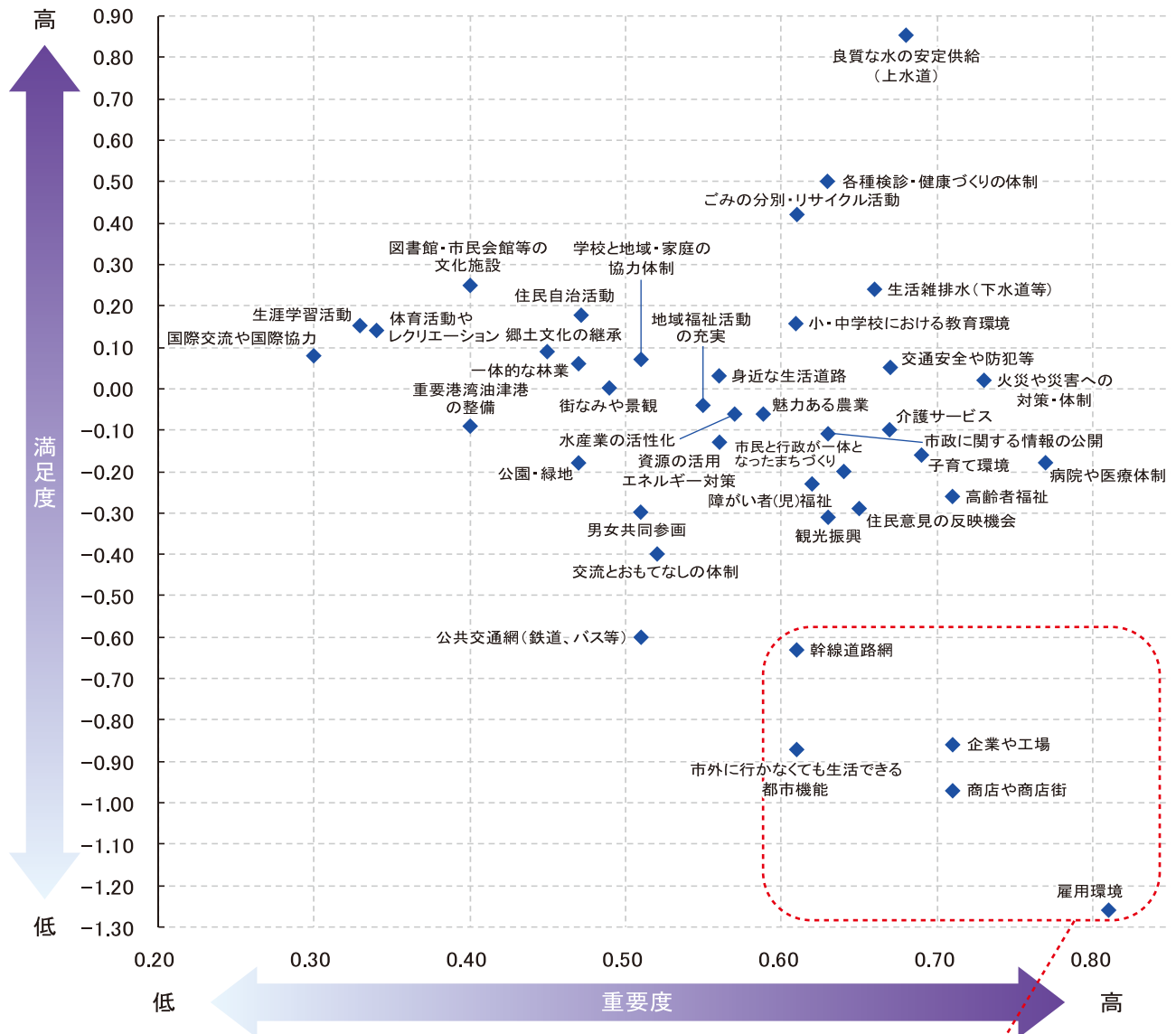
策定の背景と意義

人口減少、少子高齢化、社会インフラの老朽化、
長引く地方経済の低迷、大規模自然災害の頻発などにより、
社会情勢は厳しさを増しており、社会保障費や災害に備える経費など、
苦しい財政運営を続けるなかで、行政需要は増大しています。

地方創生や地方分権の動きが活発化するなか、
限られた行政資源（ヒト、モノ、カネ）を
どのようにまちづくりに活かしていくのか、
これまで以上に「選択と集中」を念頭にした取組が求められています。

そのため、日南市重点戦略プランは、
市民生活を守るための福祉・医療・介護などの事業については、
しっかり取り組んでいくことを前提としたうえで、
長期的な視点から、まちづくりの**コンセプト**（理念）を示し、
市民ニーズの高い
働く場の創出や商店・商店街の再生、子育て環境の充実などについて、
重点的に取り組む戦略性のある計画とします。

平成26年度 市民意識調査（満足度と重要度）調査結果



毎年実施している市民意識調査では、市民ニーズが高いものとして、「地元で働ける雇用環境」「活気をもたらし企業や工場が活動」「消費者が満足できる商店や商店街」などが挙げられています。

コンセプト

コンセプトは、たとえ社会情勢の変化や、
市や市民が様々な課題に直面することがあったとしても、
未来に向けたビジョンとして示していくぶれない軸であり、
まちづくりを進めるうえでの羅針盤となるものです。

平成21年3月30日に旧日南市、旧北郷町、旧南郷町が合併して誕生した現在の日南市は、江戸時代の飢肥藩とほぼ同じ領域です。

飢肥藩は小藩であり、薩摩藩の脅威を受け続けるとともに、財政的な危機に陥ったこともありましたが、「山尽き候ても、才覚尽きず」※という言葉に表されるように、新しい産業を興したり、人材育成に力を入れたことにより、約280年もの長い間、藩を保ち続けました。そのようなことができたのは、驕ることなく、時代を読み解き、知恵と創意工夫を持って、変化を恐れず果敢に挑戦するという精神を持った人材を育て、連綿と次の世代へつないできたからに違いありません。



※出典：『元禄期の日向飢肥藩（永井哲雄著）』

飫肥藩280年の歴史の特徴

常に危機意識を持っていた

- ✓大藩薩摩藩の脅威を受け、緊張感や危機感を持続けた
- ✓家臣団を適正に配置し、緊張関係にあった藩に対して備えていた

人々に役割を与えた

- ✓小藩ながらも通常の倍以上の約2,200人の家臣を抱えていた
- ✓これは薩摩藩の脅威に備えるとともに、古くからの家臣を大事にし、人は宝であるという考えのもと、任務や役割を与えた

新しい産業を興していった

- ✓もともと広大な山地と長い海岸線を有し、山林資源と水産資源に恵まれていた
- ✓古くからある巨木が伐採により枯渇すると、スギの大規模植林に取り組んだ
- ✓スギが成長するまでの間は、コウゾ紙の増産に成功した
- ✓炭・砂糖・カツオ節など新たな産業を興した
- ✓スギは船を造る弁甲材として、また建築材として盛んに取引された

人材育成に力を注いだ

- ✓実務に役立つ学問である実学(古学)を柱とした教育に取り組んだ
- ✓振徳堂の教育方針は、「忠孝に励み礼儀作法を重んじ、治乱に備えての心構えをもたせよ」であった
- ✓幕末・維新时期には、振徳堂で学んだ者が藩政に登用されるとともに、小倉処平や小村寿太郎が輩出された

人を育て、人に役割を与え、新しい発想で産業を興すことで、
様々な困難を乗り越えてきました

現在の日南市も、
かつての飢肥藩と同じように様々な課題に直面しています。

そうした現状を打破するため、
「人づくりこそがまちづくり」であるとの考えのもと、
次の**コンセプト**を掲げます。

創 客 創 人

この**コンセプト**を市全体で共有し、
市民一人ひとりが力を高めていくことで、
活力ある産業、市の明るい未来が見えてきます。

そうきやくそう じん
「創客創人」とは、

様々な分野において、今あるもの、資源の中から、人々が
望む価値を見出し、それを実現する製品やサービスなどを創
り出し、「新しい需要＝客」を創り、その客を幸せにする仕
組みを創れる人財を育てることです。

構成と期間

重点戦略プランは、
分かりやすく活用しやすいものとするため、
本冊と別冊に区分します。

構 成

本冊

まちづくりの**コンセプト**を示すとともに、本市が目指す将来像である**長期ビジョン**と、長期ビジョンをより具体的に描く**4つのビジョン**、そのビジョンを達成するための**戦略**及び**重点施策**を示します。

別冊（施策集）

本市のまちづくりを進めるうえでの**各分野の課題**と、それを解決するための**施策**を示します。

期 間

長期的な視点を踏まえつつ、社会情勢の変化などに柔軟に対応できるよう、**計画期間は平成27年度から31年度までの5年間**とします。

コンセプト（理念）

創 客 創 人

人々が望む価値を見出し、それを実現する製品やサービスを創り出し、「新しい需要＝客」を創り、その客を幸せにする仕組みが創れる人財を育てる

具体的な4つのビジョン

ビジョン1

地域産業の再活性化と
新しいビジネスが創出できる環境

ビジョン2

地域に誇りを持つ人が一人でも多くなる

ビジョンを実現するための4つの戦略

戦略① 働く場創出戦略

【主な重点施策】

- 農家や中小企業などの技術・ノウハウや経営資源を承継するシステムの構築
- 農林水産物の加工・販売強化に向けた新たな仕組みづくり
- 新たなビジネスを創出できる人材を育成する創客創人道場の開設
- 退職後も働く意欲のある人材と人材不足に悩む中小企業とのマッチング
- 6次産業化や農商工連携などによる地域産品の付加価値向上
- クルーズ船をはじめとする観光客への日南らしい受入れ、おもてなしの体制強化

【目標】

- ◇働く場の創出
H27～H31（5か年） 700人分

戦略② 移り住みたくなるまちづくり戦略

【主な重点施策】

- 仕事・住まいなどを総合的に支援する移住・定住パッケージの構築
- 空き家の活用を担うプラットフォーム構築
- 中心市街地活性化への取組
- 遊休施設を活用したサテライトオフィスの設置など、若者が行き交う場づくり
- 伝統的な建造物の工法技術の承継と古民家活用の総合プロデュース

【目標】

- ◇移住世帯数
H27～H31（5か年） 100世帯
- ◇日南市民であることを誇りに思う人の割合
H26 42.1% → H31 62.0%

※戦略を展開することにより、平成42年（15年後）の予測人口43,161人にプラス「2,500人」を見込む。

日南市の土台（礎）となる

農業の振興	林業の振興	水産業の振興	商工業の振興	観光の振興	学校教育
健康づくり	地域医療体制	高齢者福祉	子育て	障がい者（児）福祉	地域福祉・社会保障
	防災・危機管理	消防・救急	地域安全・交通安全	土地利用・都市基盤	

長期ビジョン（将来像）

どこよりも誇れるまちへ

～NICHINAN PRIDE～

ビジョン3

市民力の高まりによる住民自治の実現

戦略③ 住民による住民のための 地域づくり戦略

【主な重点施策】

- 住民自らが地域の課題や問題を解決する住民自治の推進
- 健康寿命延伸への取組
- 自主防災組織の強化など、地域防災力の向上
- 高齢者が知識や経験を発揮できる仕組みづくり
- 地域包括ケアシステムの構築

【目標】

- ◇ 日南市に住みたいと思う人の割合
H26 62.6% → H31 75.0%
- ◇ 65歳からの健康な期間の年数
男性 16.90年 (H22/県内17位) } 宮崎県
女性 19.82年 (H22/県内26位) } 数値以上を目指す
- ◇ 自主防災組織結成率
H25 86.4% → H31 100.0%

ビジョン4

自らの道を切りひらく次世代の育成

戦略④ 次世代育成戦略

【主な重点施策】

- 4つの学ぶ力を身に付ける日南教育の推進
- 郷土に愛着と誇りを持つ児童・生徒の育成
- 児童・生徒が自分らしい生き方を選択するためのキャリア教育の充実
- 子どもから高齢者までの多世代が交流できる場づくり
- 「もう一人子どもを産み育てられる」と決断できる環境づくり

【目標】

- ◇ 将来の夢や目標を持っている中学3年生の割合
H26 83.3% → H31 90.0%
- ◇ 安心して子育てをすることができると思う人の割合
H26 21.7% → H31 50.0%
- ◇ 出生数 毎年400人以上の維持

施策への取組 ※「別冊（施策集）」

歴史的資源・地域文化 生涯学習 生涯スポーツ 国際交流・姉妹都市交流

人権 地域自治・市民活動・協働 環境保全・美化推進 住環境・景観 上下水道・生活排水処理

幹線道路・重要港湾 生活道路・公共交通 市民と行政の情報の共有化 財政基盤 行政組織

長期ビジョン
(将来像)

私たちは、先人たちが築き上げたこのまちを
次の世代にしっかりと引き継いでいかなければなりません。

私たちが目指すこのまちの将来像、それは、

どこよりも誇れるまちへ
～NICHINAN PRIDE～

日南に今あるもの、これから創っていくもの、
それらを誇りとして、市民一人ひとりが知恵と力を出し合って、
どこよりも誇れるまちを創ります。

長期ビジョンの実現に向かって行動が起こせるよう、
さらに具体的に示した **4つのビジョン**を示します。

ビジョン1

地域産業の再活性化と新しいビジネスが創出できる環境

ビジョン2

地域に誇りを持つ人が一人でも多くなる

ビジョン3

市民力の高まりによる住民自治の実現

ビジョン4

自らの道を切りひらく次世代の育成

具体的な4つのビジョンの内容

ビジョン1

地域産業の再活性化と
新しいビジネスが創出
できる環境

地域に根付く産業が、競争力を高めて成長産業化するとともに、これまで培われてきた技術やノウハウ、経営資源が次の世代にしっかりと引き継がれ、将来の発展につながるよう地域産業の再活性化を図ります。

新しい発想から新たな価値を生み出し、それをビジネスの創出までつなげる仕組みを創り出すことにより、産業人材で賑わうまちを創ります。

ビジョン2

地域に誇りを持つ人が
一人でも多くなる

私たちの心を豊かにしてくれていた地域の歴史や自然、文化などの資源をもう一度見つめつつ、新しい地域の魅力を自ら創り出し、誇りを持って語れる人材であふれるまちを創ります。

ビジョン3

市民力の高まりによる
住民自治の実現

市民一人ひとりが、地域の課題を自分のこととして捉え、自らの役割を見つけて動き出すことによって、真の住民自治の実現につなげていきます。

世代を超えて地域の人々の結びつきが強まることにより、子どもの見守りや高齢者への支援、防災・防犯などの充実を図り、安心して生活できるまちを創ります。

ビジョン4

自らの道を切りひらく
次世代の育成

かけがえのないふるさと日南というバトンをつなぐため、子どもを安心して産める、健やかに育てられる、たくましく成長できる環境を創り、将来を担う次世代をしっかりと育てることができるまちを創ります。

具体的な4つのビジョンを実現するための4つの戦略

ビジョン1

地域産業の再活性化と
新しいビジネスが創出
できる環境

戦略①

働く場創出戦略

ビジョン2

地域に誇りを持つ人が
一人でも多くなる

戦略②

移り住みたくなる
まちづくり戦略

ビジョン3

市民力の高まりによる
住民自治の実現

戦略③

住民による住民のため
の地域づくり戦略

ビジョン4

自らの道を切りひらく
次世代の育成

戦略④

次世代育成戦略

戦略①

働く場創出戦略

地域産品の付加価値の向上や新たな販路開拓によって
地域産業の再活性化を図るとともに、
地域資源を磨き上げ、新たな価値を創出し
ビジネスにつなげることができる人材育成、
企業や起業家を呼び込むための支援体制の構築、
円滑に事業承継ができる仕組みづくりを通じて、
今ある働く場を守り、新たな働く場を創出します。

【目標】

◇ 働く場の創出 H27～H31（5か年） 700人分

戦略①の重点施策

- (1) 後継者のいない中小企業などの技術・ノウハウや経営資産を承継するシステムの構築
- (2) 顧客のニーズを意識した6次産業化や農商工連携などによる地域産品の付加価値向上
- (3) 農林水産物の加工・販売強化に向けた新たな仕組みづくり
- (4) 新規就農者が後継者のいない高齢農家から技術指導や販路確保などの支援を受け、円滑に経営承継できる仕組みづくり
- (5) やる気のある就農希望者への就農関連情報の提供や、就農から経営を安定させ定着するまでの一貫した支援
- (6) 森林資源の有効活用と中山間地域の雇用確保につながる、木材安定供給体制の整備
- (7) 漁業経営の安定化に向けた効率化やコスト削減に対する支援
- (8) 魅力ある観光資源として多層的な歴史資源と自然資源の発掘・磨き上げや、回遊性の向上、市内外への情報発信強化
- (9) クルーズ船をはじめとする観光客への日南らしい受入れ、おもてなし体制強化や、観光産業の持続的な発展基盤の整備
- (10) 退職後の豊富な経験や知識を持つ人材と、人材不足に悩む中小企業とのマッチングによる、地域産業の活性化支援
- (11) 行政、金融機関、中小企業などの連携強化による地域産業支援体制の充実
- (12) 高い経営能力や柔軟な発想を備え、新たなビジネスや儲かる産業を創出できる人材を育成する創客創人道場の開設
- (13) 新しいビジネスに挑戦する企業や起業家を支援するハード・ソフト両面の環境づくり
- (14) 地域課題の解決や地域資源の活用につながるコミュニティビジネスの促進(戦略1・3)
- (15) 遊休施設を活用したサテライトオフィスや研究室の設置など、若者が行き交い、交流する場づくり(戦略1・2)
- (16) 空き家を改修し、住宅、店舗、ギャラリーなどへの活用を担うプラットフォーム(不動産、建築、設計などの連合)の構築(戦略1・2)
- (17) 東九州自動車道の全線開通に向けた、官民一体による積極的な要望活動の実施(戦略1・2・3)
- (18) 地域の力が生きる東九州自動車道インターチェンジ周辺の利活用(戦略1・2・3)

戦略②

移り住みたくなるまちづくり戦略

関係事業者のネットワークによる空き家再生促進や、
遊休施設などを活用したサテライトオフィスや大学との連携、
仕事・住まい・子育ての総合的な移住支援体制の構築、
日南の歴史・文化・伝統を誇りを持って語れる人材の育成により、
人々が行き交い活気ある、
移り住みたくなるまちに磨きあげます。

【目標】

- ◇ 移住世帯数 H27～H31（5か年） 100世帯
- ◇ 日南市民であることを誇りに思う人の割合
H26 42.1% → H31 62.0%

戦略②の重点施策

- (1) 伝統的な建造物の魅力を維持・向上させるための、伝統工法の技術継承と古民家活用の総合プロデュース
- (2) 日南の歴史や文化、伝統を学ぶ「日南学講座」の開設や各地区の伝統芸能の後継者の育成（戦略2・4）
- (3) 遊休施設を活用したサテライトオフィスや研究室の設置など、若者が行き交い、交流する場づくり（戦略1・2）
- (4) 空き家を改修し、住宅、店舗、ギャラリーなどへの活用を担うプラットフォーム（不動産、建築、設計などの連合）の構築（戦略1・2）
- (5) 都市機能の維持や質の高い時間消費ができる場としての中心市街地の活性化
- (6) 働き盛り世代をターゲットにした仕事・住まい・子育てを総合的に支援する移住・定住パッケージの構築
- (7) 子育て世代が、「もう一人子どもを産み、育てられる」と決断できる環境づくり（戦略2・3・4）
- (8) 若い世代が結婚・出産に対する希望をかなえるためのきっかけづくり（戦略2・4）
- (9) 郷土の資源や偉人を教材とした「日南ふるさと学」を通じて、郷土に愛着と誇りを持つ児童・生徒の育成（戦略2・4）
- (10) みんなの支え合いのもと、住み慣れた地域で誰もが必要な医療・介護・予防・生活支援が受けられる地域包括ケアシステムの構築（戦略2・3）
- (11) 障がい者が地域で安心して生活を送るための保健・医療・福祉サービスや就労支援などの充実（戦略2・3）
- (12) 生活困窮者の早期把握と自立に向けた支援体制の充実
- (13) 住民が、いつでも、どこでも必要な医療サービスが受けられる地域医療体制の確立
- (14) 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催効果を取り込むためのキャンプ誘致などの活動推進
- (15) スポーツをするだけでなく、みる、支えるなど、スポーツを身近に感じる環境づくり
- (16) 東九州自動車道の全線開通に向けた、官民一体による積極的な要望活動の実施（戦略1・2・3）
- (17) 地域の力が生きる東九州自動車道インターチェンジ周辺の利活用（戦略1・2・3）

戦略③

住民による住民のための地域づくり戦略

地域住民や企業・団体・行政などの職員が自分たちの手で
やりがいを持てる地域づくりを推進するとともに、
誰もが住み慣れた地域で
いつまでも健康で安心して暮らせるよう、
子どもから高齢者まで世代を超えた交流の推進や、
医療・介護などの必要なサービスを受けながら
支え合い、生活できる地域を創ります。

【目標】

- ◇ 日南市に住み続けたいと思う人の割合

H26 62.6% → H31 75.0%

- ◇ 65歳からの健康な期間の年数

男性 16.90年 (H22/県内17位)	} 宮崎県の数値 以上を目指す (H22/男性17.44年・女性21.01年)
女性 19.82年 (H22/県内26位)	

- ◇ 自主防災組織結成率

H25 86.4% → H31 100.0%

戦略③の重点施策

- (1) 住民自らが地域の課題や問題を解決する住民自治の推進
- (2) 防災対策、イベントの開催などを通じた、地域同士、集落同士の交流促進
- (3) 高齢者の豊かな知識や経験を、地域や仕事の場で発揮できる仕組みづくり
- (4) 子どもから高齢者までの多世代の交流が、子どもの見守りや高齢者の生きがいにつながるような、社会全体での子育て支援策の充実(戦略3・4)
- (5) 子育て世代が、「もう一人子どもを産み、育てられる」と決断できる環境づくり(戦略2・3・4)
- (6) 子どもの健やかな心身を育むための支援の充実(戦略3・4)
- (7) 地域課題の解決や地域資源の活用につながるコミュニティビジネスの促進(戦略1・3)
- (8) 自主防災組織の強化、防災訓練、防災教育の充実、津波避難施設の整備など、地域防災力の向上
- (9) みんなの支え合いのもと、住み慣れた地域で誰もが必要な医療・介護・予防・生活支援が受けられる地域包括ケアシステムの構築(戦略2・3)
- (10) 障がい者が地域で安心して生活を送るための保健・医療・福祉サービスや就労支援などの充実(戦略2・3)
- (11) 生涯学習で得た知識や技術を、地域や学校など社会で生かす場を設け、指導者となる人材の発掘・育成(戦略3・4)
- (12) 地域における健康づくりを推進する人材の育成や、生活習慣病予防対策など、健康寿命を延ばすための取組強化
- (13) 生活習慣病の予防が、本人の幸せ、家族の活力、次世代の負担軽減につながるとの意識醸成
- (14) 環境学習の推進などにより、地域での環境保護活動やごみ減量化を推進する人材の育成
- (15) 地域が主体となった地域公共交通網の形成
- (16) 東九州自動車道の全線開通に向けた、官民一体による積極的な要望活動の実施(戦略1・2・3)
- (17) 地域の力が生きる東九州自動車道インターチェンジ周辺の利活用(戦略1・2・3)

戦略④

次世代育成戦略

子育て世代が人生の先輩である高齢者から
豊富な知識や知恵を学べる機会の充実や、
子どもたちが4つの学ぶ力を身に付ける日南教育の推進、
若い世代が出会い、交流を深めるきっかけづくりなどにより、
将来を担う次世代が生まれ心豊かに育つよう、
地域社会全体でしっかりと取り組みます。

【目標】

- ◇ 将来の夢や目標を持っている中学3年生の割合
H26 83.3% → H31 90.0%
- ◇ 安心して子育てをすることができると思う人の割合
H26 21.7% → H31 50.0%
- ◇ 出生数 毎年400人以上の維持

戦略④の重点施策

- (1) たくましく生き抜く力を備えた子どもたちを育てるために、「他者から学ぶ力」「自ら学ぶ力」「自然から学ぶ力」「社会から学ぶ力」の4つの学ぶ力を身に付ける日南教育の推進
- (2) 児童・生徒の学力と競争意識を高める、より質の高い学習機会の提供
- (3) 児童・生徒が将来に希望を抱き、自分らしい生き方を選択するためのキャリア教育の充実
- (4) 郷土の資源や偉人を教材とした「日南ふるさと学」を通じて、郷土に愛着と誇りを持つ児童・生徒の育成（戦略2・4）
- (5) 子どもたちが自他の生命や人権を尊重する心を育む教育の充実
- (6) 日南の歴史や文化、伝統を学ぶ「日南学講座」の開設や各地区の伝統芸能の後継者の育成（戦略2・4）
- (7) 生涯学習で得た知識や技術を、地域や学校など社会で生かす場を設け、指導者となる人材の発掘・育成（戦略3・4）
- (8) スポーツ活動を通した子どもたちの心身の育成やトップアスリートを輩出できる指導体制の充実
- (9) 子どもから高齢者までの多世代の交流が、子どもの見守りや高齢者の生きがいにつながるような、社会全体での子育て支援策の充実（戦略3・4）
- (10) 子育て世代が、「もう一人子どもを産み、育てられる」と決断できる環境づくり（戦略2・3・4）
- (11) 子どもの健やかな心身を育むための支援の充実（戦略3・4）
- (12) 若い世代が結婚・出産に対する希望をかなえるためのきっかけづくり（戦略2・4）

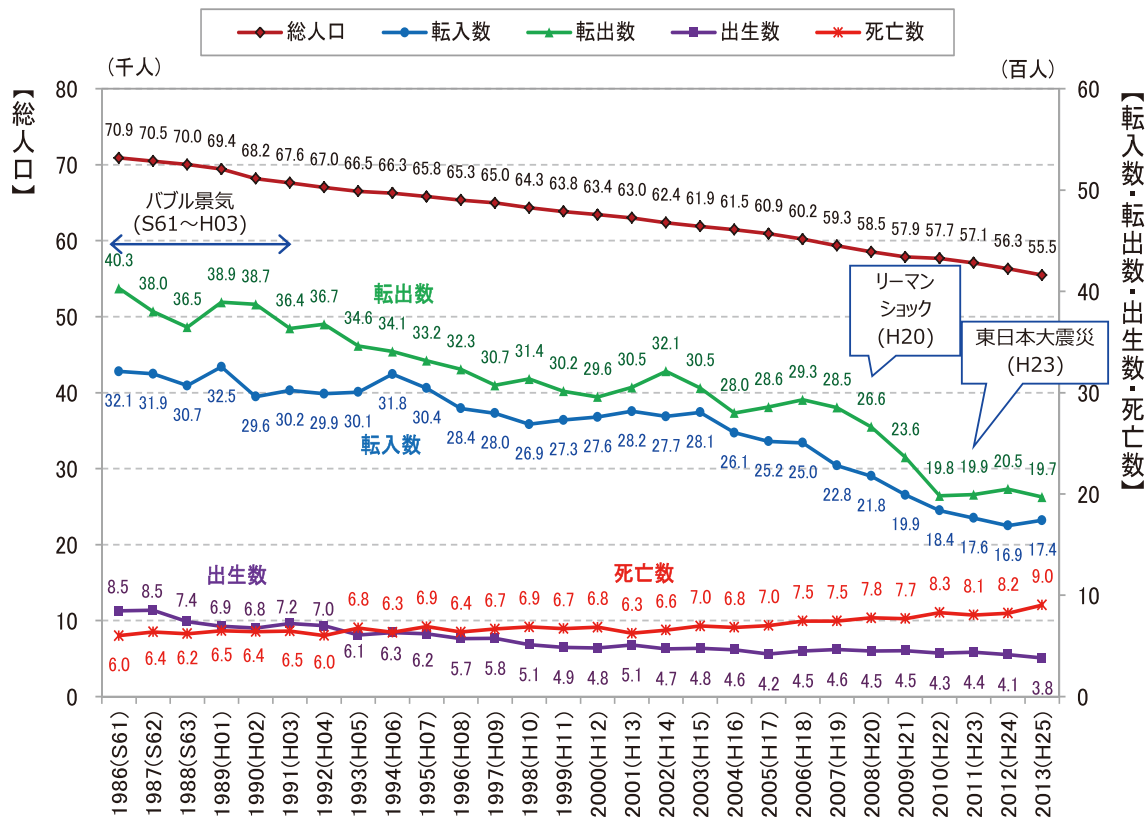
人口の推移

市域の人口推移をみると、減少傾向が続いており、
昭和61年から平成25年までの27年間で21.7%減少しています。

社会動態については、昭和61年以降、
常に市外への転出者数が市外からの転入者数を上回っており、
人口流出が続いています。

自然動態については、出生数は減少傾向、死亡数は増加傾向が続いており、
平成5年に死亡数が出生数を上回り、
自然減少に転じて現在に至っています。

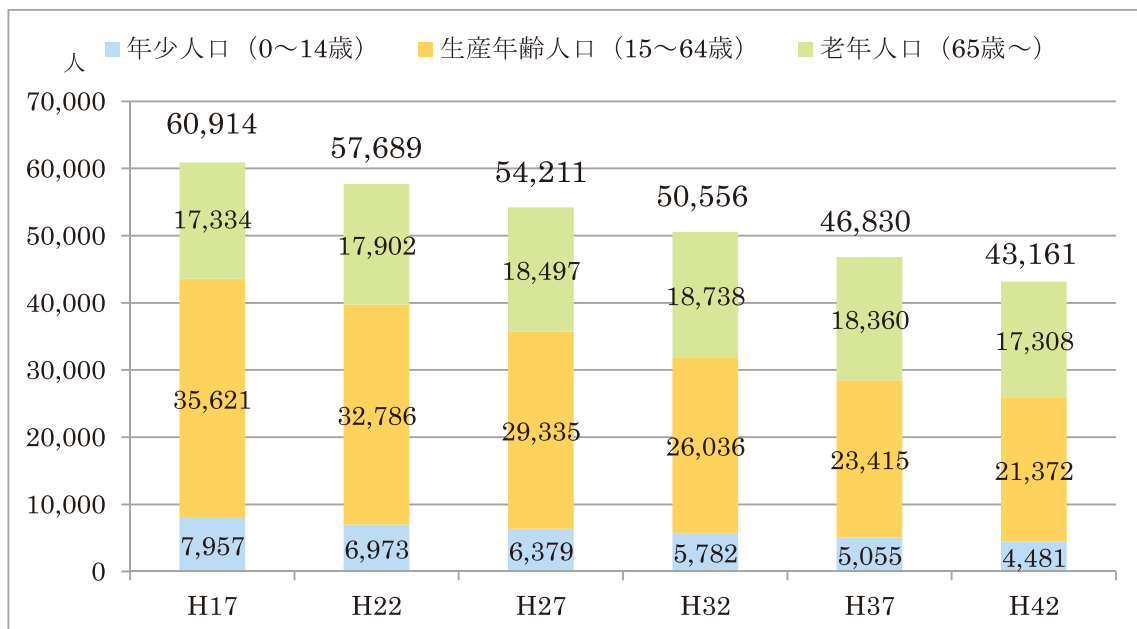
■人口・転入数・転出数・出生数・死亡数の推移



※＜総人口、転入・転出数、出生・死亡数＞：日南市総合戦略課

将来人口の見通し

本市では、少子高齢化の進展や若者の市外への流出などの影響から、
人口減少の傾向が今後も続き、
平成42年には43,161人（平成22年比で25.2％減少）と予測されています。
また、老年人口の割合は、
平成42年には4割を超えると予測されています。



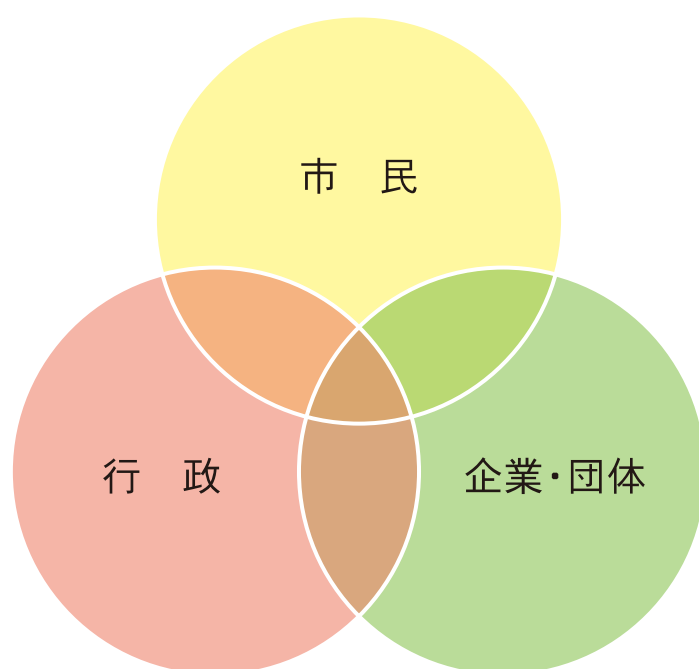
（出典）H17 及び H22 は国勢調査。H27 以降は、日南市予測。

※国勢調査（H17 及び H22）の総数には、年齢不詳（H17:2 人、H22:28 人）を含む

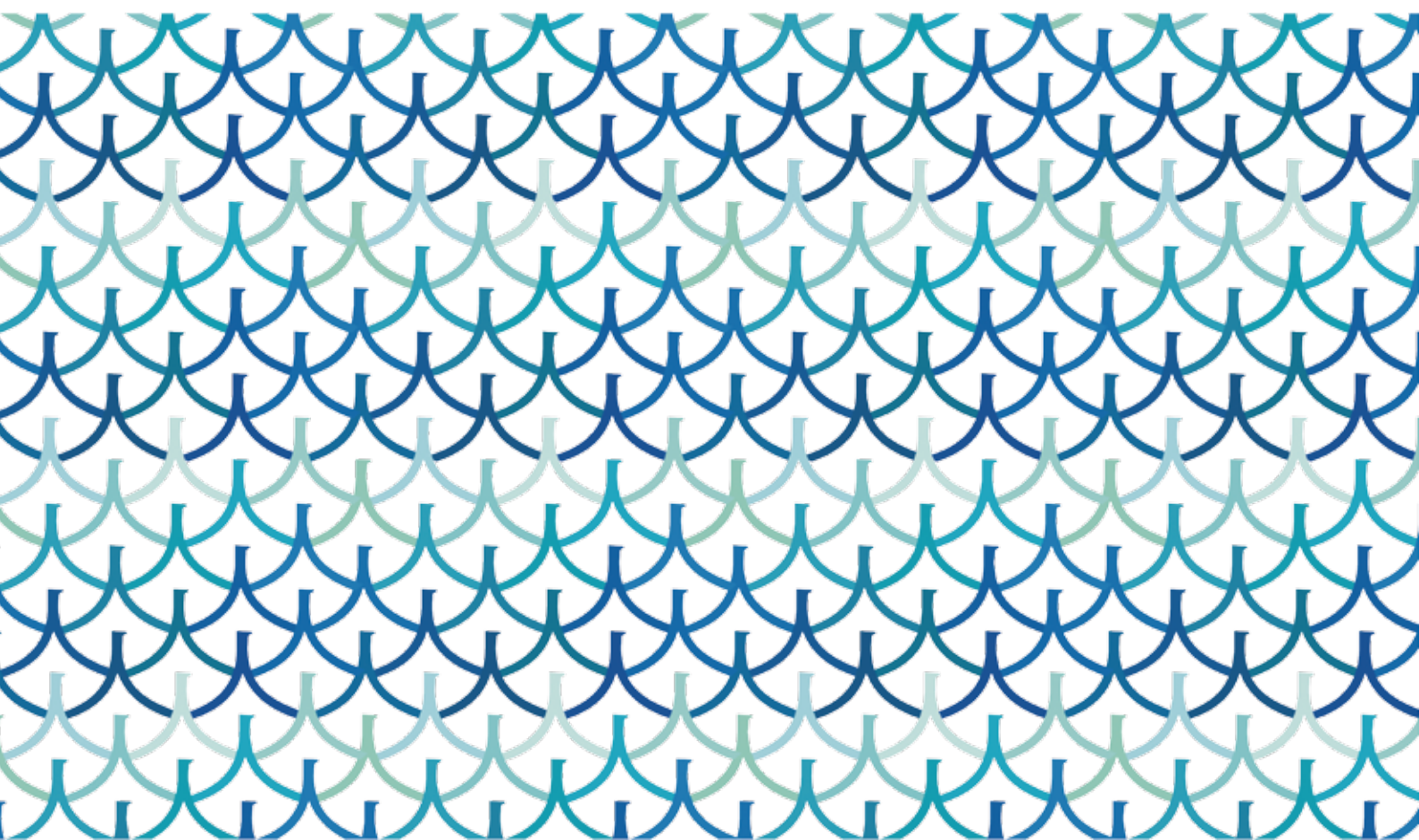
4 用語解説

No.	用 語	掲載ページ	解 説
1	4つの学ぶ力	8、19、20	他者に対して謙虚な姿勢で接し、自らを振り返ろうとする『他者から学ぶ力』、生活する環境の中での確に情報を読み取り、自らの行動を判断しようとする『自ら学ぶ力』、ふるさとの自然や文化に親しみ、よさを誇ることができる『自然から学ぶ力』、周りの事象に対して興味・関心を持ち、積極的に課題を解決しようとする『社会から学ぶ力』。
2	6次産業化	7、14	産出された生産物を、製造・加工し付加価値をつけ、流通・販売まで業務展開すること。生産(第1次産業)、製造・加工(第2次産業)、流通・販売(第3次産業)を併せて行うため、全てを足して(又は乗じて)6次産業と称される。
3	PRIDE	8、9	誇り。ここでは、地域固有の歴史・文化などにより築かれ、受け継がれてきたものや、これから創り上げていくものを誇りとする精神。
4	インフラ	1	インフラストラクチャーの略。道路・鉄道・港湾・電気・水道・情報通信基盤・下水道・学校・病院・社会福祉施設など、生活や生産などの基盤を形成するものの総称。
5	ギャラリー	14、16	作品を陳列・展示したりする施設など。
6	キャリア教育	8、20	児童・生徒が、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための能力や態度を育てる教育。
7	クルーズ船	7、14	乗客に港から港への航海を提供するための旅客船。
8	コウゾ紙	4	楮紙。コウゾ(クワ科の落葉低木)の樹皮の繊維を原料とした紙。和紙の中で代表的なもの。
9	コミュニティビジネス	14、18	地域の資源や技術などを活用し、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決する取組。
10	サテライトオフィス	7、14、15、16	企業または団体の本拠地から離れた所に設置された事務所などのこと。
11	トップアスリート	20	その競技で高い水準の実力を認められている運動選手。
12	ノウハウ	7、11、14	企業などの活動に必要な生産・経営・管理・技術などに関する知識・経験の情報。ものごとのやり方。こつ。
13	パッケージ	7、16	複数の要素を組み合わせで一まとめにしたもの。
14	プラットフォーム	7、14、16	事業者などが、共通する課題やテーマに応じて集まり、課題解決などに向け取り組んでいく連合体・連携体。様々な活動の拠点となる場や組織を示すものとして使用される。
15	プロデュース	7、16	制作すること。
16	マッチング	7、14	結び付けること。組み合わせること。
17	健康寿命	8、18	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。
18	産業人材	11	ここでは、人々が生活するうえで必要とするものを生み出したり、提供したりする経済活動人材のことを指す。
19	市民力	8、10、11、12	ここでは、地域の課題を自分のこととして捉え、その課題解決に向け、自主的、前向きに取り組もうとする力を指す。
20	事業承継	13	会社などの経営を後継者に引き継ぐこと。
21	自主防災組織	8、17、18	地域住民(自治会など)が主体となって、自発的に連携して防災活動を行う組織。
22	自然動態	21	一定期間における出生・死亡に伴う人口の動き。
23	社会動態	21	一定期間における転入・転出に伴う人口の動き。
24	社会保障	1、7	生活していくために必要な医療、年金、福祉、介護、生活保護などの公的サービスのこと。
25	住民自治	8、10、11、12、18	まちづくりが、その地域の住民の意思と責任に基づいて行われること。
26	生涯学習	8、18、20	人々が生涯を通じて行うあらゆる学習活動。学校教育のみならず、地域・社会で行われている学習活動も含まれる。
27	生活習慣病	18	食習慣、運動習慣など、日頃の生活習慣が要因となって発症する病気の総称。
28	選択と集中	1	力をいれる分野を明確にし、その分野に資源を集中させること。
29	創客創人道場	7、14	ここでは、修行をする場所ではなく、コンセプト「創客創人」にかなう人材を育てる仕組みを指す。
30	地域包括ケアシステム	8、16、18	重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制。
31	中山間地域	14	平野の外縁部から山間地にかけての、傾斜地が多く、生産・経済的条件が不利な地域を指す。
32	農商工連携	7、14	農林漁業者と商工業者などが連携し、お互いの技術やノウハウを生かして、新商品や新サービスの開発・提供、販路の拡大などに取り組むこと。

創 客 創 人



市民と行政、企業・団体が、
コンセプト「創客創人」を共有し、
「どこよりも誇れるまち」の実現に向けて、
それぞれの役割を果たしていきます。



2015年3月

日 南 市